



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月31日

上場会社名 株式会社 キッツ
コード番号 6498 URL <http://www.kitz.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 康之

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 川口 忠昭

TEL 043-299-0114

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日

平成23年12月5日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	56,353	9.8	2,344	△16.2	2,118	△18.2	1,073	△18.2
23年3月期第2四半期	51,344	11.2	2,796	△5.4	2,589	0.8	1,313	10.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 685百万円 (466.7%) 23年3月期第2四半期 120百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.83	—
23年3月期第2四半期	11.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	99,932	53,672	52.8
23年3月期	100,138	53,433	52.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 52,779百万円 23年3月期 52,524百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
24年3月期	—	3.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	4.00	7.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	109,000	2.8	5,200	△18.0	4,700	△20.7	2,800	△8.6	25.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	120,396,511 株	23年3月期	120,396,511 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	11,172,907 株	23年3月期	11,172,386 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	109,223,854 株	23年3月期2Q	113,064,404 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。なお、予想数値に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)3ページの「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

参考) 平成24年3月期の個別業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	56,000	9.8	1,900	△26.0	2,200	△24.5	1,900	54.3	17. 39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成23年5月12日に公表しております個別業績予想は、通期について当期純利益を除き修正しております。
- 当連結会計年度第4四半期において、当社の100%子会社である東洋バルヴ株式会社が製造部門を当社に吸収分割しその後有償減資することに伴い、当社単体決算においては同社から承継した純資産の額と当社が保有する同社株式の帳簿価額のうち当該承継純資産の額に対応する額との差額につきましては、「抱合せ株式消滅差益」として、また、有償減資におきましては、「子会社有償減資払戻差益」として特別利益に計上することが見込まれますが、当該金額が確定していないため当期純利益の予想につきましては平成23年5月12日公表値を変更しておりません。なお、同社は当社の連結子会社のため、吸収分割及び有償減資が連結業績に与える影響はありません。
- 業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報により作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、本年3月に発生した東日本大震災の影響により大きく落ち込んだ生産活動がサプライチェーンも修復が進み回復が見られましたが、電力供給問題が大きな制約となり設備投資や個人消費が依然として低迷が続いた他、急激なドル安、ユーロ安に起因する大幅な円高の進行により、輸出産業は大きな打撃を受けるところとなりました。海外経済については、アジア諸国は堅調な成長を持続しておりますが、米国の景気減速懸念や欧州債務問題等、先行き不透明な状況であります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間は、バルブ事業において国内市場、海外市場ともに増収となった他、伸銅品事業においても増収となった結果、売上高は前年同期比9.8%増の563億53百万円となりました。損益面では、営業利益は、需要が低迷する中、価格競争の激化や円高の影響に伴い販売価格が下落したことに加え、一部の製品について不採算となったことなどにより、前年同期比16.2%減の23億44百万円、経常利益は、前年同期比18.2%減の21億18百万円となりました。また、四半期純利益は、前年同期比18.2%減の10億73百万円となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

① バルブ事業

バルブ事業の外部売上高は、国内向けについては、東日本大震災のサプライチェーンの障害による入荷不安や復興に伴う需要などの想定もあり、一部のバルブが増加するとともに、海外市場においても、北米市場でプラント向けを中心に大幅な回復をみせ、さらにアジア向けも増加したことにより、前年同期比10.7%増の402億85百万円となりました。しかしながら営業利益は、販売価格の下落や、製造コストの増加などもあり、前年同期比11.1%減の31億88百万円となりました。

② 伸銅品事業

伸銅品事業の外部売上高は、販売単価の上昇及び需要増に伴う販売量の増加により、前年同期比15.1%増の112億3百万円となりました。営業利益は、売上高の増加もあり工場稼働率の高い水準で維持したものの、第2四半期末にかけ銅価の急激な下落による棚卸資産の評価減もあり、前年同期比32.8%減の1億95百万円となりました。

③ その他

その他の外部売上高は、フィットネス事業において東日本大震災により被災し営業停止した仙台及び水戸の2店舗が6月から営業再開となり、また、ホテル事業において一時的に団体予約の大量キャンセルが発生し、前年同期比6.5%減の48億65百万円となりましたが、営業利益は、フィットネス事業において各種経費の節減に努めたこと、ホテル事業においても来客数が回復してきたことなどにより前年同期比8.8%増の3億3百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、棚卸資産の増加などがありましたが、借入金の返済及び法人税等の納付などの支出による現預金の減少もあり、前連結会計年度末に比べ2億6百万円減少し999億32百万円となりました。負債につきましては、借入金の返済や法人税等の納付などにより、前連結会計年度末に比べ4億45百万円減少し462億59百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払による利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の減少はありましたが、当第2四半期の純利益10億73百万円により、前連結会計年度末に比べ2億39百万円増加し536億72百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ10億59百万円減の116億48百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産の増加額17億67百万円や、法人税等の支払13億92百万円などがありましたが、税金等調整前四半期純利益21億円、減価償却費14億60百万円などにより、営業活動によるキャッシュ・フローは2億89百万円の資金の増加（前年同期は28億91百万円の増加）となりました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

バルブ事業を中心に12億22百万円の設備投資を行ったことなどにより、投資活動によるキャッシュ・フローは11億55百万円の資金の減少（前年同期は17億70百万円の減少）となりました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

長期借入金23億円及び私募社債9億91百万円を調達しましたが、一方、長期借入金25億78百万円を返済するとともに、私募社債4億79百万円の償還を行い、さらに4億36百万円の配当金の支出を行なった結果、財務活動によるキャッシュ・フローは1億74百万円の資金の減少（前年同期は27億74百万円の減少）となりました。

- (注) 1. 当社では短期の運転資金需要の発生に備え、当社取引銀行との間で総額38億円の短期借入金に関するコミットメントライン契約を締結しております。当第2四半期連結会計期間末における当該借入金の残高はありません。
2. 当社は、平成22年9月27日に200億円を限度とする社債の発行登録を行い、平成22年12月10日に第2回無担保公募社債60億円（期間5年）を発行しております。なお、当該資金は、平成23年10月26日に期限の到来した第1回無担保公募社債60億円の償還に充当いたしました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期累計期間の業績を勘案し、平成23年5月12日に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしました。

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	112,000	6,600	6,000	3,200	29. 29
今回発表予想 (B)	109,000	5,200	4,700	2,800	25. 63
増減額 (B-A)	△3,000	△1,400	△1,300	△400	—
増減率 (%)	△2.7	△21.2	△21.7	△12.5	—
前期実績 (平成23年3月期)	106,059	6,341	5,929	3,063	27. 36

1. 国内市場では、本年3月の東日本大震災後の復興が遅れ、又、為替も円高で推移することが予想されるなど依然として厳しい状況が見込まれます。海外市場では、EUにおける財政・金融問題が、世界経済に影響を与える可能性も高まっており、加えて、タイにおける大規模な洪水災害の長期化など予断を許さない状況にあり、国内のみならず世界経済においても一段と不透明な状況にあります。

このような状況の中で、当社の連結業績につきましては、売上高が銅市況の下落に伴い伸銅品事業の売上が当初予想を下回る見込みのほか、半導体関係の需要の落ち込みなどによりバルブ事業の営業利益が当初予想を下回る見込みであり、これを修正するものです。

2. 当社の子会社であるKITZ (THAILAND) LTD. はタイ国内に2つの工場を有しており、同社のバンブリー工場は、バンコク東南部サムットプラカーン県に立地し、また、アマタナコン工場はバンコク東部のチョンブリ県に立地しておりますが、平成23年10月28日現在ともに洪水による被災はなく、通常の操業を維持しております。

このような状況を踏まえ、平成23年5月12日に公表いたしました業績予想を修正させていただくものであります。

なお、当連結会計年度におきましては、将来のIFRS導入に備えるため、決算期が2月末であった子会社につき決算期の変更を行っております。これに伴いKITZ (THAILAND) LTD. 及び台湾北澤股份有限公司は、10ヶ月間に、株式会社清水合金製作所は13ヶ月間の業績となっております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
税金費用の計算 税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算している。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用している。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,108	11,938
受取手形及び売掛金	22,253	22,055
商品及び製品	4,844	5,939
仕掛品	3,317	3,665
原材料及び貯蔵品	6,118	6,381
その他	2,458	2,648
貸倒引当金	△64	△60
流動資産合計	52,036	52,569
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,966	12,697
土地	11,221	11,181
その他(純額)	10,839	10,825
有形固定資産合計	35,027	34,704
無形固定資産		
のれん	1,471	1,385
その他	700	767
無形固定資産合計	2,172	2,152
投資その他の資産	10,901	10,504
固定資産合計	48,101	47,362
資産合計	100,138	99,932
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,799	5,608
1年内償還予定の社債	6,958	7,158
短期借入金	1,834	1,831
1年内返済予定の長期借入金	5,691	5,205
未払法人税等	1,233	931
賞与引当金	1,448	1,385
役員賞与引当金	117	—
その他	3,437	3,487
流動負債合計	26,521	25,608
固定負債		
社債	8,888	9,209
長期借入金	6,792	7,014
退職給付引当金	345	352
役員退職慰労引当金	379	299
資産除去債務	416	419
その他	3,362	3,357
固定負債合計	20,184	20,651
負債合計	46,705	46,259

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,207	21,207
資本剰余金	9,430	9,430
利益剰余金	28,901	29,538
自己株式	△3,917	△3,917
株主資本合計	55,622	56,259
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	840	558
為替換算調整勘定	△3,938	△4,038
その他の包括利益累計額合計	△3,098	△3,479
少数株主持分	908	892
純資産合計	53,433	53,672
負債純資産合計	100,138	99,932

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	51,344	56,353
売上原価	39,319	44,600
売上総利益	12,025	11,753
販売費及び一般管理費	9,228	9,409
営業利益	2,796	2,344
営業外収益		
受取利息	10	9
受取配当金	71	85
その他	196	188
営業外収益合計	277	283
営業外費用		
支払利息	228	223
売上割引	130	158
為替差損	85	64
その他	40	62
営業外費用合計	485	509
経常利益	2,589	2,118
特別利益		
有形固定資産売却益	3	36
店舗閉鎖に伴う未払解約違約金減少額	77	—
災害損失引当金戻入額	—	9
その他	5	1
特別利益合計	87	47
特別損失		
有形固定資産除売却損	38	19
投資有価証券評価損	66	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	392	—
災害による損失	—	14
その他	3	11
特別損失合計	501	65
税金等調整前四半期純利益	2,174	2,100
法人税等	865	1,016
少数株主損益調整前四半期純利益	1,309	1,083
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△3	10
四半期純利益	1,313	1,073

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,309	1,083
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△451	△282
為替換算調整勘定	△737	△115
その他の包括利益合計	△1,188	△398
四半期包括利益	120	685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	123	691
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,174	2,100
減価償却費	1,483	1,460
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△263	△61
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	0	59
受取利息及び受取配当金	△81	△95
支払利息	228	223
売上債権の増減額 (△は増加)	275	142
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△161	△1,767
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△93	△211
仕入債務の増減額 (△は減少)	414	△132
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△480	146
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	392	—
その他	△99	△49
小計	3,789	1,813
利息及び配当金の受取額	80	95
利息の支払額	△228	△226
法人税等の支払額	△750	△1,392
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,891	289
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△938	△1,222
有形固定資産の売却による収入	2	47
投資有価証券の取得による支出	△29	△11
定期預金の純増減額 (△は増加)	△490	100
その他	△314	△68
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,770	△1,155
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	121	19
長期借入れによる収入	50	2,300
長期借入金の返済による支出	△2,021	△2,578
社債の発行による収入	—	991
社債の償還による支出	△479	△479
配当金の支払額	△565	△436
その他	119	9
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,774	△174
現金及び現金同等物に係る換算差額	△193	△19
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,846	△1,059
現金及び現金同等物の期首残高	9,746	12,707
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,899	11,648

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	36,406	9,733	5,204	—	51,344
セグメント間の内部売上高 又は振替高	147	1,093	19	△1,259	—
計	36,553	10,826	5,224	△1,259	51,344
セグメント利益	3,587	291	278	△1,361	2,796

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△1,361百万円には、セグメント間取引消去7百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,368百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はない。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	バルブ 事業	伸銅品 事業	その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
売上高					
外部顧客への売上高	40,285	11,203	4,865	—	56,353
セグメント間の内部売上高 又は振替高	98	1,397	14	△1,510	—
計	40,383	12,601	4,880	△1,510	56,353
セグメント利益	3,188	195	303	△1,343	2,344

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、フィットネスクラブ事業及びホテル及びレストラン事業等を含んでいる。

2. セグメント利益の調整額△1,343百万円には、セグメント間取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,346百万円が含まれている。全社費用は、主に当社の本社の総務人事部、経理部、経営企画部等の発生費用で、幕張本社ビルの管理費用を含んでいる。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、重要な事項はない。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。